在宅医療・介護連携推進事業について

事業趣旨

在宅医療・介護連携推進事業は、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供し、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築を推進するために、地域の実情を把握・分析したうえで、住民や地域の医療・介護関係者と地域の目指すべき姿等を共有し、医療機関と介護事業所等の関係者との協働・連携を推進することを目的としている。

本事業においては、地域における医療や介護等の状況を踏まえつつ、在宅医療と介護の一体的な提供 の実現に向け

●地域の医療・介護の資源の把握

(例:医療機関や介護事業所のリスト又はマップ作成等)

●在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討

(例:地域の医療・介護関係者が参画する会議等を開催等)

●切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進

(例:高齢者施設と医療機関の連携に係るマッチング等)

●在宅医療・介護の連携に関する相談支援

(例:在宅医療・介護の連携を支援する相談窓口の設置・運営等)

●地域住民への普及・啓発

(例:講演会やシンポジウム等の開催等)

●医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援

(例:看取り、急変時、入退院時の情報共有ツールの作成等)

等により、医療・介護関係者の協働・連携を進め、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を推進するものである。

(在宅医療・介護連携推進事業の手引きVer.4より抜粋)

図 1 在宅医療・介護連携の推進

在宅医療・介護連携の推進

- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における 医療・介護の関係機関(※)が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要。
 - (※) 在宅療養を支える関係機関の例
 - ・診療所・在宅療養支援診療所・歯科診療所等 (定期的な訪問診療等の実施)
 - ・病院・在宅頒養支援病院・診療所(有床診療所)等 (急変時の診療・一時的な入院の受入れの実施)
 - ・訪問看護事業所、薬局 (医療機関と連携し、服薬管理や点滴・褥瘡処置等の医療処置、看取りケアの実施等)
 - ・介護施設・事業所 (入浴、排せつ、食事等の介護 、リハビリテーション、在宅復帰、在宅療養支援等 の実施)
- このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、都道府県・保健所 の支援の下、市区町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進する。



図 2 在宅医療・介護連携推進事業のイメージ

地域のめざす理想像

切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

①現状分析·課題抽出·施策立案

- (1) 地域の医療・介護の資源の把握 ■地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集 ■情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用
- (2)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- ■将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計(在宅医療など)

(3) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サ 供体制の構築を推進

●総合事業など他の地域支援事業等との連携

②対応策の実施

(4)在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- の配置等による相談窓口の設置
- ■関係者の連携を支援する相談会の開催

(5) 地域住民への普及啓発

- ■地域住民等に対する講演会やシンポジウムの開催 ■周知資料やHP等の作成

(6) 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のた

- めの研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 ●医療・介護関係者の情報共有の支援
- ■在宅での看取りや入退院時等に活用できるような情報共有ツール の作成・活用
- ●医療・介護関係者の研修
- ■多職種の協働・連携に関する研修の実施(地域ケア会議含む)■医療・介護に関する研修の実施

③対応策の評価・改善